

分野： ② ④ ⑩

## 「自然災害と環境」

環境アドバイザー 藍沢 司

対象 川口市立芝西小学校 4年（149人）

所要時間



70分

場所 体育館

実施時期

令和2年9月14日

## 概要

通学区内にある大きな調節池がそもそも何のためにあるのかを自然災害、(特に洪水)に視点をあてて考えてみる。また、河川の自然環境の保全についても理解を深める。

## プログラムのねらい

そもそも自然とは何かを知る。  
雨水のゆくえについて学ぶ

## プログラムの内容

## 1 導入（15分）

もともとはどこはどんな土地？（古い地図を使って）  
自然とは何？

## 2 自分の家の雨水はどこへ？（40分）

- ・水系の理解
- ・上谷沼はどんなところ？
- ・どんな生き物が暮らしているのだろうか？

## 3 まとめ（15分）

- ・治水というものの理解
- ・質問タイム

御自身の活動の様子や使用する教材や器材の  
**写真を必ず1枚以上添付**

※受講者等が写る場合は、被撮影者の了解を得たものにする等、プライバシーに配慮したものを御使用ください。

※掲載位置は自由です（裏面又は各欄中）

## 受講者の反応

事前準備の課題（白地図塗り）にも大変よく取り組んであり、講義を進めやすかった。ほとんどの生徒が興味のある箇所には進んでメモをとるなど積極的な姿勢が見られた。特に、最後の質問の時間は大勢の児童が質問するために時間を合わせるのが大変なくらいであった。



質問に熱心にこたえます。

分野： ② ④ ⑩

## 「自然災害と環境」

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 川口市立芝西小学校 4年（149人）

所要時間



70分

場所 体育館

実施時期

令和2年9月14日

### 概要

通学区内にある調節池が何のための施設かを正しく理解し、自然災害に備えることの大切さを学ぶ。  
同時に河川の自然環境の保護にも焦点をあてる。

### プログラムの ねらい

そもそも自然とは何か  
雨水の行方

## プログラムの内容

### 1 導入（15分）

もともとはどんな地形だったのだろうか？（古い地図をもとに）  
自然とは何か考えてみよう。

### 2 自分の家の雨水はどこへ（40分）

- ・水系というものを知る
- ・調節池の働きは何？
- ・住んでいる生きものの様子

### 3 まとめとふりかえり（15分）

- ・治水というものを知る
- ・質問に答える。

御自身の活動の様子や使用する教材や器材の  
**写真を必ず1枚以上添付**

※受講者等が写る場合は、被撮影者の了解を得たものにする等、プライバシーに配慮したものを御使用ください。

※掲載位置は自由です（裏面又は各欄中）

### 受講者の反応

真剣に話を聞いてくれていた。事前準備で配布した白地図もしっかり取り組んであったので、効率的に講義がすすめられた。調節池は虫取りをしていた場所というだけでなく、洪水被害から生活を守るための施設であることを理解してくれたようだ。

質問もたくさんあり、時間が足りないと感じた。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

